

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 29 年 6 月 28 日		
所属学部・研究科	教育学部	4 年次 (留学開始時点)		
留学先大学	ミネソタ大学 (国名: アメリカ合衆国)			
所属学部・学科等名	College of Liberal Arts (コミュニケーション)			
在籍身分	Non-Degree-seeking student			
留学期間	平成 28 年 8 月 21 日 ~ 平成 29 年 6 月 12 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: J-1			
	ビザ申請先: 在大阪・神戸米国総領事館			
	<p>取得方法, 提出書類: DS-160 フォーム、パスポート、証明写真、面接予約確認書、ミネソタ大学から届いた DS-2019、SEVIS 費の確認書などをウェブサイトなどで自分でそろえて、大阪大使館で面接を受けてビザを発行してもらいました。参考ウェブサイト: http://www.ustraveldocs.com/jp_jp/jp-niv-typej.asp</p>			
	手続きに要した日数: 1ヶ月ほど (直前になると予約がとりにくいので DS-2019 が届いたらすぐに始めるとよい。)			
その他必要な事前手続き	<p>現地で到着後、大学までの交通手段の確保。私は前年のミネソタ大学から広大への留学生に迎えに来てもらったが、その時期にはミネソタ大学から無料シャトルバスもでていたようであった。一応ライトレール (路面電車) でもいけるが、荷物が多いことを考えると車をお勧めする。</p> <p>また、住む寮によってはセメスターが始まるまでは入居できないところが多々あったので、その場合は寮の temporary service を利用して滞在日数分の費用を払って滞在するのが便利であった。</p>			
出国年月日	平成 28 年 8 月 20 日			
経路	広島→羽田→シカゴ→ミネアポリス			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	留学生用のオリエンテーションがあった。そこで他の大学から同じプログラムで来ている他の日本人留学生と顔合わせをした。また、週末に利用できる授業の履修登録期間、アドバイザーの連絡先、無料シャトルタクシーについてなど留学生にとって有益な情報をそこで得た。			
帰国年月日	平成 29 年 6 月 12 日			
経路	ミネアポリス→ロサンゼルス→羽田→広島			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	1,994,000	円	
	内訳	渡航費	240,000	円
		保険料	200,000	円
		教科書代(学費)	60,000	円
		宿舍費	785,000	円
		食費	100,000	円

	その他 (ミールプラン半年分)	209,000	円
	(旅行 費)	400,000	円
	(費)		円
3. 授業について			
2016年 秋 学期	9月 6日 ~	12月 23日	
2017年 春 学期	1月 14日 ~	5月 13日	
年 学期	月 日 ~	月 日	
年 学期	月 日 ~	月 日	
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	到着時に英語のテストを受けて、基準点に届かなければはじめての1学期にESLの授業をとらなければならない。ちなみに私は秋 (ESL Reading & Writing, Painting, Introduction of Elementary education) , 春(ESL Research Paper, ESL teaching, Chinese language)を履修しました。		
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること		
学術面に関する後輩へのアドバイス	立場によって履修登録手続きができる期間が違い、留学生が登録できるころには人気の授業はほとんど埋まっていたりします。少しでも自分のとりたい授業がとれるよう、履修期間が始まったらすぐに登録できるよう、事前に興味のある授業をチェックして、自分の予定にうまく合うかいくつかシュミレーションしておくともスムーズに登録できていいと思います。 授業選びの際に参考になった・役立ったウェブサイト： http://classinfo.umn.edu/ (右下の lookup ボタンから興味のある授業を絞り込めて便利) https://schedulebuilder.umn.edu/ (授業と自分の予定をシュミレーションするのに便利) http://www.ratemyprofessors.com/ (教授について学生がコメントする裏サイト)		
4. 生活等について			
(1) 留学先の住居について (セメスターごとに別の場所に住みました。)			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ① 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> ② アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()		
住居の広さ	約 m ²	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ② 有 (3 人) <input type="checkbox"/> ① 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ② ガス <input checked="" type="checkbox"/> ② 水道 <input checked="" type="checkbox"/> ② 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> ② シャワー <input checked="" type="checkbox"/> ② 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> ① 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> ② 台所 <input checked="" type="checkbox"/> ① 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()		
住居費	1ヶ月当たり ①3317 ドル②3737 ドル(現地通貨)		約①3692②12④415,962 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()		
留学先での住居全般に関するアドバイス	大学のハウジングシステムの中には大きく分けて2タイプ、Apartment タイプ (自炊。普通のアパートのよう) と寮タイプ (ミールプラン必須。トイレ・シャワー・キッチンなどは共有) があります。場所によっても値段が若干かわるけど、それよりも住む部屋のタイプ (何人部屋、ベッドルームはシェアかなど) によってセメスターごとの費用が大きく変わるようです。詳しくは https://housing.umn.edu/		
(2) 医療について			
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった		
入院した場合	により		日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった		

掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()	
掛け金は	年間 200,000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名		
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	ミネソタ大学でかけなければならなかった保険は、高い代わりにミネソタ大学附属の病院への通院費がほぼ無料だったので (持病をのぞく、薬代は自己負担) 安心して体調の悪いときはヘルスセンターに通っていました。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	冬は年によってはマイナス 40 度になるような場所なので、冬場はほとんど外に出ない生活になります。鬱予防のため (?) 私はビタミンDの入ったグミを薬局で買ってきて、1日2粒食べていました (笑)	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
比較的ミネソタはアメリカの中では治安のよい場所でしたが、それでもパーティーや夜ご飯を食べに行き暗くなってから帰る際は必ず2人以上、あるいは車を使って帰るようにしていました。バスも暗くなってからの使用は控えるようにしていました。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
冬用のコートやマフラー、手袋、マスクなどはミネソタ使用のものを現地で購入しました。裏にアルミがついていて広島防寒服よりもより体を守ってくれます。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 30年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 29年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input checked="" type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	広島県の教員採用試験と日本人学校の教員採用試験を受験します。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	留学中に開催される教育実習のためのオリエンテーションには所属ゼミの先生に代理出席していただきました。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
地球の歩き方 アメリカ	ダイヤモンド社	各州の情報がコンパクトにまとまっているので旅行の際便利
地球の歩き方 アメリカ・ドライブ	ダイヤモンド社	日本とは大きく異なる運転の際のルールが学べる
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
アメリカでの制度や留学生用の仕組みなど、わからないことばかりで、インターネットを駆使して調べる日々でした。中でも先輩からの情報や現地ですでにアメリカ人・留学生友達からの情報に助けられることが多かったです。とはいっても何でもわからないことは早めに調べて、それでもわからなければ人に聞いていけばいいのことは何とかなります。私にわかることなら喜んでお伝えするので声をかけてください。準備や行ってからの手続きも含めて何でも経験になるので1年留学生活たのしんでください!!		

授業

前半 3 つ、後半3つ、合わせて6つの授業を受けました。ESL reading & writing, Painting, Introduction of Elementary Educationが前半の3つ。ESL research paper, Chinese language, ESL teachingが後半の3つです。ESL reading & writing と ESL research paper そして Chinese language のクラスは留学生が多いクラスでした。私の ESL クラスは特に中国人が多くて、先生が中国語禁止令を出すほどでした。Painting のクラスには様々なバックグラウンドを持つクラスメートがいました。アートを専門的に勉強している学生はもちろん、子育てをしながら美術の先生を目指して勉強している二児の母、また定年退職後に趣味で授業取っている香港人の年配の方もいました。Introduction of Elementary Education では大学に入ったばかりの1年生と一緒に勉強しました。ESL teaching のクラスでは、これから世界中にとびたって英語を教えたいアメリカ人の学生と勉強しました。それぞれの生徒に英語のほか得意とする言語があり、スペイン語、韓国語、日本語、ポルトガル語、中には手話など別々の言語についての学習経験を伝えあいました。語学学習施設でのボランティアが必須だったので、私はソマリア人の英語施設に通っていました。また、中国語の語学のクラスはアメリカに行ってからとることを決めた授業です。大学1年生のころ中国語の授業をとっていたので、言語学習環境を比較する良いチャンスだと思いました。それだけではなく、アメリカ人もベトナム人も日本人もクラスメートみな、中国語のクラスでは中国語学習者として同じ立場になれるので、友達を作りやすいかなという気持ちもありました。実際、日本人の私にとっては漢字が読みやすいけれどトーンの問題がわからない、アメリカ人にとってピンインは書けるし読めるけど漢字はハードルが高い、ベトナム人はトーンがものすごく得意(ベトナム語には20以上のトーンがある)など、母語ごとの特徴を生かしあって授業中に助け合うことができ、新鮮でした。また毎日あるクラスだったので、すぐにクラスメートとの距離は近くなりました。それぞれの6つの授業を通して、日本での学習環境との比較もでき、教師になるうえで役立つアイデアを異なる角度から吸収することができとても充実した時間でした。

英語

宿題の提出方法についてなど、特に大事なことを聞き逃したと思ったときは、クラスメートに聞か授業終わりに先生に聞きに行くなどして、周りの人にSOSを求めることで切り抜けていました。日本の授業は先生の話聞いてメモを取る授業が多いのに対して、アメリカの授業は生徒の発言中心に授業が進む、という授業の違いに慣れなくて、はじめの頃はとまどってばかりでした。ディスカッションのクラスだったのに一言も発することができなかつたと悔し涙を流したことも一度ではありません。考えていることはあるのにそれを周りに伝えられないから、まるで赤ちゃんになったみたいだと当時の日記に書いてありました(笑) 他大学のアメリカ人の学生がボランティアでやっている英会話教室に毎週通い、conversation partner をいくつかの団体でつくってできるだけそれぞれ週に1回は会うようにし、意識的に英語を使って定期的に人と会う機会を作りました。授業で行うプレゼンテーションや提出物が不安なときは、writing center や office hour を積極的に利用して、一対一でネイティブに自分で書いた英語を直してもらいました。Writing center にいる法学部の大学院生などいままで多くの文章を書いてきた学生たちは頼りになりました。直接授業で使う英語のことでなく、インターンシップを申し込むメールやレジュメを見てもらうこともありました。また、長期休暇にアメリカ人や留学生を含むメンバーで旅行に行き、四六時中共通語として英語を使う環境に身を置くことも英語に対する抵抗をなくすことにつながりました。

宿題

中国語の授業では Semester ごとに3回、自分で作品を提出する宿題が出ました。ポスター、発表、ユーチューブへの動画投稿などです。将来の教師になる際に参考になるであろうアイデアばかりでした。また、小学校入門のクラスや ESL ティーチングのクラスでは小学校や英語学校に見学に行き、観察するものもありました。アメリカの指導要領を見ながら、実際の授業を想定して指導案を作って提出する課題もありました。アクティブに動くことが求められる分、それだけ具体的なものを作ることになります。自分が現時点で何を理解していて、今後どのようなことを学んでいきたいのか振り返る機会や、授業で学んで考えたことを普段の生活に結び付けて考える機会が多く、日本にいたころとは違った頭の部分を動かしているようでした。日本の授業と比べ、日々宿題は多めに出るので、特に複数の授業で多く出た日にはあまり睡眠時間が取れず、平日の生活はほとんど宿題と予習中心に進んでいました。

寮生活と食事

前半のセメスターでは寮の1人部屋に、後半のセメスターでは4人のシェアルームに住みました。寮では、トイレとシャワー、キッチンが皆で共有でした。ミールプランをつけなければならなかったため、ほとんど自炊はしていませんでした。後半のセメスターで4人シェアルームに引っ越し、アメリカ人3人とルームシェアをしました。部屋にキッチン、冷蔵庫、トイレ、バスタブ、洗濯機、ドライヤーがすべて揃っていることに大感激でした。United Noodle, Dragon Star Supermarket などのお気に入りのアジア・マーケットに毎週野菜を買いに行き、ほとんど自炊する生活にスイッチしました。ミネアポリスにはあまりたくさんの日本食レストランはありませんでしたが、メキシコ料理やベトナム料理など、日本であまり挑戦したことのない国のレストランが多くあったので、食通の友達に連れて行ってもらうのを楽しみに過ごしていました。そのことによって日本料理が食べられないことによるホームシックも治りました。スライスの冷凍豚肉やお好みソースを購入し、友達を寮に招くときには毎回お好み焼きをつくって広島をアピールしました♪

アルバイト

食堂で学内アルバイトを1か月しました。大学内で人気のアルバイトは、食堂、図書館、オフィスでのようでした。アルバイトをする前に、ソーシャルセキュリティナンバーを取得しなければならず、その手続きに時間がかかりました。ソーシャルセキュリティオフィスではアメリカ人用とその他の国出身の人用の受付が分けられており、3時間待っても名前が呼ばれないことが2回ありました。もしアルバイトを考えている人がいたら、すぐに始められるわけではないので余裕をもって準備を進める必要があると思います。ちなみに私は、せつかくの留学中の時間をアルバイトに割くのはもったいないと思うようになり1か月でやめてしまいました。しかしアルバイトをしたこと自体は、国ごとの働くということに対する考え方の違いを垣間見ることができてよい経験になりました。

ボランティア

ミネソタ大学にあるボランティアセンターに出かけて、セメスターごとに新しいボランティア先を探しました。学生スタッフが働いていて、面談を通して一人一人にあったボランティア先をミネソタ大学のウェブページから紹介してくれるので、自分では探しきれなかった情報や、アメリカでの英語での応募の仕方を教えてもらいました。前半のセメスターでは放課後の小学生とアート活動をする「Free Arts Minnesota」というボランティアをしました。後半ではそれに加えて、アフリカのソマリアから来た大人に英語を教えるボランティア、また小学校で体育の時間に先生をヘルプするボランティアをしていました。どれも一日本人として応募するのではなく、ミネソタ大学の生徒として申し込むのでスムーズに始めることができたと思います。そのほかには、美術館で小学生に向けての鑑賞教育の研修を受け、またPaintingのクラスメートの子供が通っていた小学校でArtの特別授業として書道教室をしました。やりたい活動がある場合は、その分野に関連するコミュニティーで友達を作り、やりたいことを周りの人に言っていると、誰かが機会を運んでくれることがありますヨ^^

イベント

毎週末に大学内で何かしらの団体によってFree food イベントが開かれていたので、よく友達と出かけていました。そこで新しい友達ができ、交流の場にもなりました。ダンスパーティーやカジノ、中国の新年会などテーマは毎回様々でした。また、「留学するからにはアメリカの良いところだけを持ち帰るのではなく、日本の良さもアメリカ人や留学生に伝えて帰りたい」という思いがあったので、年間を通して3回のイベントを韓国人の友達と企画・運営しました。テーマは「アートカード」「アジアのドラマ」「日本と韓国の屋台料理」です。ミネソタ大学のISSSという留学生サポート団体がこのような独自のイベントも支援していて、その団体と相談しながら計画しました。英語を使ってアメリカで自分のアイデアを使ってイベントをする、というのは一つの自信になりますし、その過程で得られるものが多いです。

持って行ってよかったもの

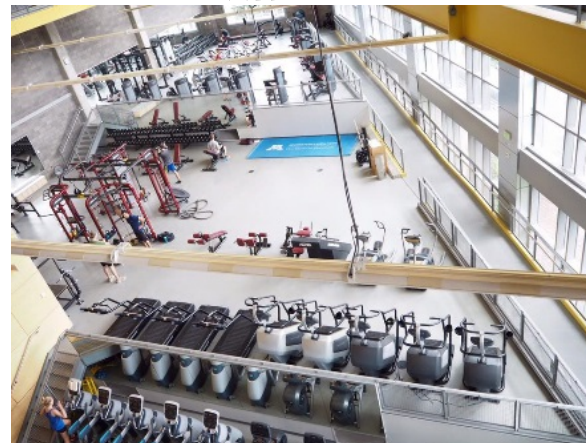
カイロ、ユニクロのヒートテック(ミネソタにはユニクロがない)、抹茶(アメリカ産のものは香りが違う)、常備薬(痛み止めや酔い止め)、日本の化粧品、スーツ(細身の人は特に。店で自分のサイズを探すのが大変)。クレジットカード2,3枚(ほとんどクレジットカードで払うため、旅行の時など限度額いっぱいになってしまう)、ソフトバンクの携帯(アメリカ放題のキャンペーンで日本にいるのと同じように携帯がアメリカでも使えた)、FacebookやWe chatなどでできた友達との連絡手段

This is where I was

キャンパス内



無料のジム



ハンモックで休んでいる人たち

キャンパス内の美術館



Yudof Hall



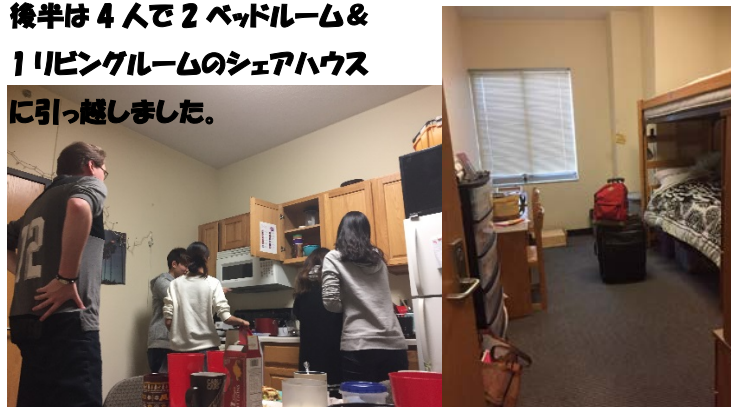
後半は4人で2ベッドルーム&1リビングルームのシェアハウスに引っ越しました。

ペインティングの教室

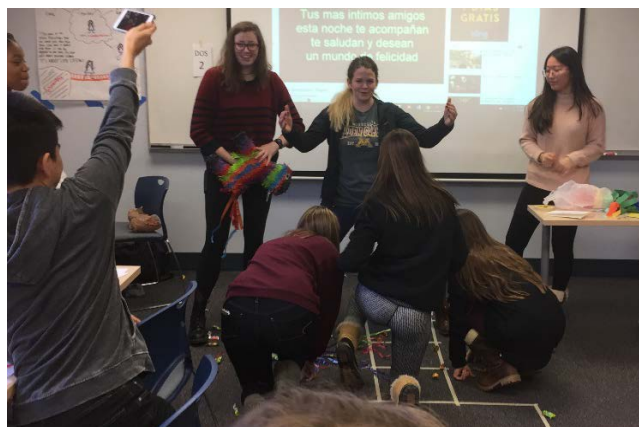


Centennial Hall

前半で住んでいた寮は電子レンジも冷蔵庫もなかったの、購入しました。トイレとシャワー室は1フロアの住民でシェアでした。



Minnesota Life



小学校入門のクラス



中国語クラスのクラスメートたち



留学生アドバイザー

食堂でのアルバイト



レクセンターのロッククライミング

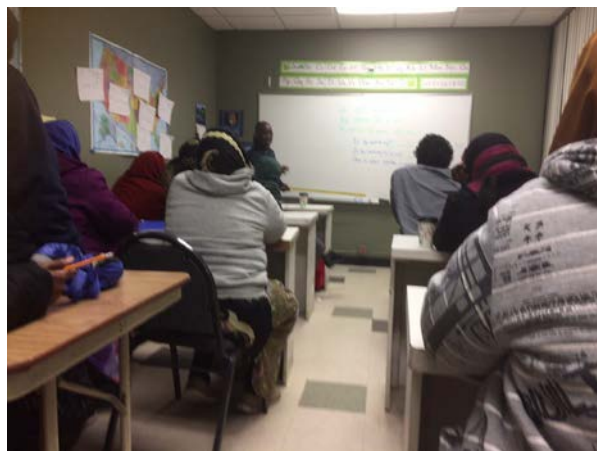


レクセンターでの空手クラス





ミネソタ・フリー・アート
(放課後の小学生とアート教室)



ソマリア人の英語教室で英語を教えるボランティア



手巻き寿司とたこ焼きのパーティー



アートカードの文化交流イベント



大学で毎週末行われるイベントの1つ



大学でのダンスパーティー



広大生でときどき日本食



ミネソタで買ったコートと防寒グッズ



Travel



ボストンキャリアフォーラムに参加しました。

冬休みのトロント旅行



元広大留学生を訪ねる旅 1



元広大留学生を訪ねる旅 2

